



TOSHIBA

Leading Innovation >>>

FUTURE DESIGN

vol. **42**

2 0 1 5

安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

特集●交通と都市の未来形

東京湾岸タイムトラベル

400年以上にわたる
東京湾岸部の変化を誌上で満喫！

東芝エレベータ株式会社

TOSHIBA ELEVATOR AND BUILDING SYSTEMS CORPORATION

第9回未来エレベーターコンテスト 開催のご案内

未来のエレベーター・エスカレーターの形を学生の方々から募る「未来エレベーターコンテスト」が今年も実施されます。

コンテスト公式サイトにおいて、7月1日にテーマを発表し、9月末まで作品を募集しますので、学生の方々はふるってご応募ください。

公式サイトURL：<http://www.toshiba-elevator.co.jp/elv/newsnavi/volumes/contest/index.html>

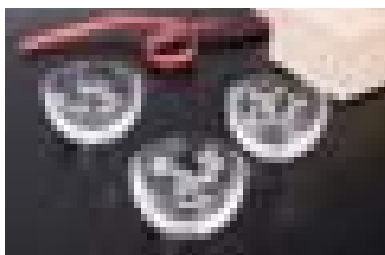


昨年の最優秀賞「Vertical Hydrogen City」

（ アンケートにご協力ください ）

『FUTURE DESIGN』vol.42に対するご感想をお寄せください。抽選で10名様に、松竹梅が描かれた、花切子のぐい呑みグラス3点セットをお送りします。

花切子とは江戸切子の技法のひとつで、透明なガラスに下絵なしで直接花鳥風月を彫っていきます。このグラスは、「玻璃匠 山田硝子」の三代目職人で、すみだマイスターに認定されている山田真照さんの手でつくられました。グラスは、三段重ねの木箱に入れてお届けします。



- 応募方法
同封のがきまたは FAX用紙、E-mailでご意見をお送りください。
- 締め切り
2015年8月31日到着分まで有効。

東芝エレベーター株式会社 FUTURE DESIGN

vol.42 2015

2015年5月31日発行 発行 東芝エレベーター株式会社 広報室

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

電話 (044)331-7001

URL <http://www.toshiba-elevator.co.jp>

E-mail elevator@po.toshiba.co.jp

制作 有限会社イー・クラフト＋有限会社ベル・プロダクション デザイン 手塚みゆき
印刷会社 株式会社メディア グラフィックス



地球環境に配慮した植物油インキを使用しています。

FUTURE DESIGN

vol. **42**
2015

安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

CONTENTS

03-09 特集●交通と都市の未来形

東京湾岸タイムトラベル

400年以上にわたる
東京湾岸部の変化を誌上で満喫！

10-13 ユーザー訪問●住み心地、いかがですか？
vol.9

横浜市

14-15 特別企画●交通と都市の未来形

未来の都市の歩き方

パーソナルモビリティ試乗体験記

16-17 連載●私の忘れられない本・映画・音楽

ピーター・バラカンさん

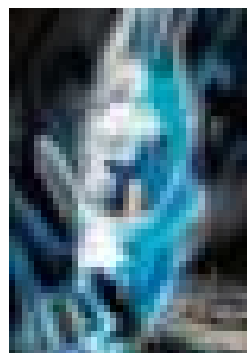
18-19 連載●がんばる地方都市 第6回

三重県多気郡多気町

20 連載●おもて菓子 第2回

シェル・レーヌ (ブレン)

【表紙解説】



江戸／東京が都市として産声を上げてから400年以上がたちました。江戸／東京は機会あるごとに姿形を変えてきましたが、特に大きく変貌しているのは湾岸部で、「東京湾は地球上で最も改変された港湾である」と唱える学者もいます。

2020年の東京五輪開催を控えた今、東京湾岸部を時間旅行してみると、新しい何かを発見できるかもしれません。

画像提供(部分)：八東はじめ氏

20XX

東京港で今後埋め立てられるのは、残すところ、「新海面処分場」と呼ばれるごみ処理場だけとなった。

19XX

東京湾の大規模な埋め立ては20世紀も続く。2020年の東京五輪の選手村、一部の競技施設などが建設される晴海、豊洲、有明は、20世紀に埋め立てられた。

1590-1900

現在の東京都中央区・江東区の大半はもともと海だったが、江戸時代に大規模な埋め立てが実施され、陸になった。

TOKYO BAY AREA TIME TRAVEL

特集●交通と都市の未来形

東京湾岸タイムトラベル

400年以上にわたる

東京湾岸部の変化を誌上で満喫！

2020年の東京五輪の開催に向けて、現在急ピッチで再開発が進められている東京湾岸部。しかし、江戸城はもともと東京湾に面する崖の上に位置し、湾岸部は、17世紀から20世紀にかけて何度も実施された大規模な埋め立てにより、その都度大きく姿を変えてきた。江戸／東京が都市の歴史を刻み始めてから現在、そして未来に至る東京湾岸部の「旅」にご案内しよう。

【画像提供】上層：浅子佳英氏

東京湾岸を過去から未来までタイムトラベルに出かけるよ！



エレベっち
東芝エレベータの
イメージキャラクター

海と川とでつながった 水運ネットワークにより栄えた江戸



現在の東京のカタチができたのは、江戸時代に遡る。1457年に太田道灌が江戸城を築城し、江戸が都市として整備された。1590年、徳川家康が江戸城に入城してからの湾岸部を旅してみよう。

濠の開削や入り江の埋め立て、土木工事のできた城下町

「現在の東京を眺めると、その基本的な形はすでに、江戸時代には完成していました」

そう語るのは、東京都江戸東京博物館都市歴史研究室 研究担当係長の市川寛明氏だ。

徳川家康が入城した1590年頃、江戸はまだ葦が生い茂る湿地だった。江戸城があったのは、海に向かって張り出す台地の先端で、その東側には日比谷入り江と呼ばれる海がすぐ近くに迫っていた。家康は大規模な土木工事で江戸の改造を図る。江戸城の外濠や神田川放水路の開削とともに、日比谷入り江の埋め立てもこの時に行われた。

「こうして、数多くの武家屋敷と、武士の生活を支える商人・職人が住む多くの町を擁する巨

大な城下町が誕生しました。江戸は18世紀の初め、すでに人口が100万を超える、世界有数の都市へと成長していたのです」

そもそも家康は、なぜ鎌倉でも小田原でもなく、江戸を都に定めたのだろう。市川氏は「江戸が、海と川が使える水運ネットワークの結節点だったからでしょう」と推理する。

江戸は南に大きな海湾が開け、そこに大きな川がいくつも注ぎ込んでいる。物資の運搬を水路に頼っていた時代において、江戸は流通のインフラを最大限に活かせる場所だった。

上方や日本海沿岸から海船で運ばれた荷は、佃島のあたりで底の浅い川舟に載せ替えられ、江戸の街へと入ってくる。飯田橋の近くに揚場町という地名があるが、荷を積んだ川舟はそのあたりまで川を上がっていたという。特に、日本橋の界隈に

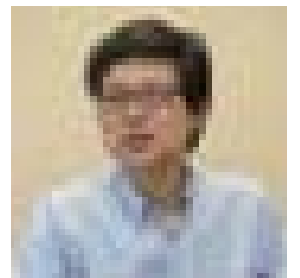
は細かく水路が張り巡らされ、河岸と呼ばれる荷揚げ所が数多く設けられていた。

一方、江戸の初期には、陸路として東海道、中山道などの街道も整備された。日本橋はその起点でもあった。

「日本橋と、その周辺の京橋や内神田は、陸のルートと海のルートが交わる結節点で、江戸時代に商業地として大いに栄えました」（市川氏）

災害からの復興をきっかけに
新しい土地が開かれる

市川氏は、江戸が都市として発展していく際の転機として、1657年に発生した明暦の大火を挙げる。この火災では、本郷小石川、麴町に起こった火がまたたく間に広がり、江戸城を含む街の大部分が焼失した。死者数は10万にもものぼるとされる。



東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室
研究担当係長／学芸員
市川 寛明 氏 いちかわ ひろあき

1964年愛知県生まれ。一橋大学大学院社会学研究科修士。専門は日本近世都市史。編著に『目でわかる江戸時代（小学館）』、『江戸の学び』（河出書房新社）がある。

「この大災害を経験して、幕府は火災が起こっても延焼を抑えられるよう、江戸の改造を進めます。その手法とは、中心の密集地にある武家屋敷や寺社を郊外に移転させたり、広小路と呼ばれる幅の広い道や空き地を設けたりすることでした」

加えて、隅田川に両国橋や永代橋などの橋を架け、東側の本所・深川地区を埋め立て、大規模な開発を進めた。

「隅田川に面して倉庫が建ち並ぶようになり、木場という材木貯蔵場所もその頃にできています。私が勤める博物館が建っていたのも、材木蔵があったところとされています」

災害復興計画によって人工的な街が開発され、そこが都市の新しい機能を担っていく。そうした東京湾岸の役割が、すでに江戸時代には始まっていたのである。

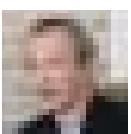
information



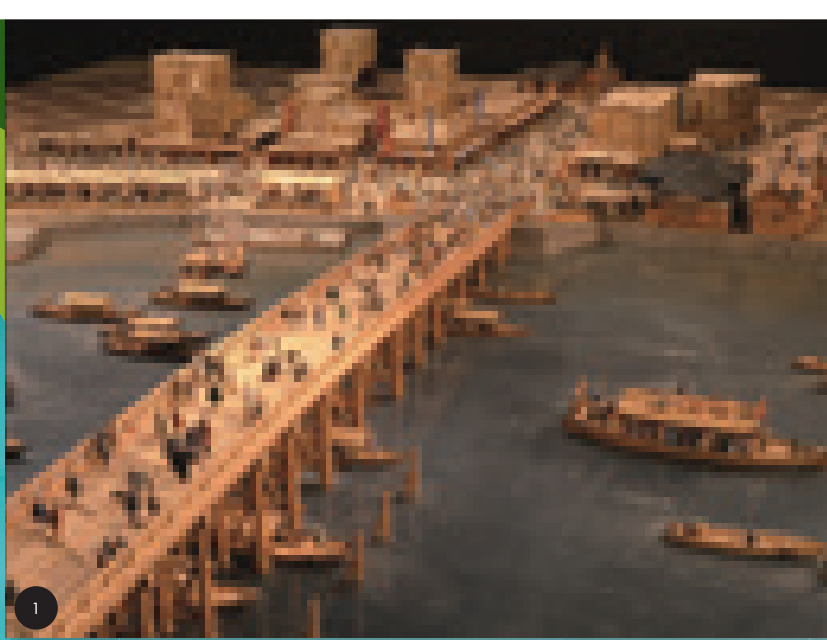
東京都江戸東京博物館
江戸東京の歴史遺産が展示されている。2015年3月28日、常設展示室がリニューアルオープンした。
URL : <http://www.edotokyo-museum.or.jp/>

column

大規模な地形改変により
現在の東京はできている



(株)之潮代表
芳賀 啓氏
はが・ひろく



明暦の大火をきっかけに、両国橋が架橋され、隅田川東岸（現在の両国）にも市街地が拡大した。しかし、両国はもともと隅田川西岸地区の呼称で、江戸時代に浅草と並ぶ繁華街として栄えた。写真は、江戸後期の両国橋西詰の様子を再現した模型。
画像提供：東京都江戸東京博物館

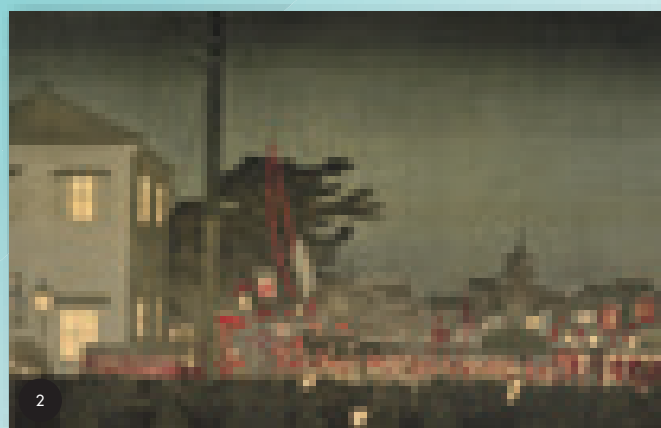
TOKYO BAY AREA 1590-1900

出典：国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所「東京港の変遷」をもとに作成。
http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/tokyo/faq/img/que05_01.pdf

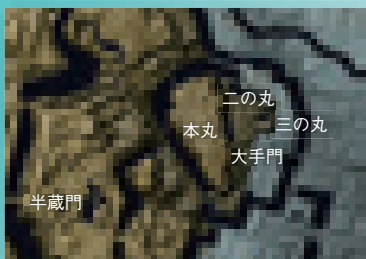
- 中世の頃の海岸線
- 江戸期～明治末期(1909年)の埋め立て地



佃島は江戸時代、海船から川舟に荷を載せ替える拠点だった。写真は葛飾北斎作『富嶽三十六景』の「武陽佃島」。



浅草は江戸時代から栄えた繁華街だが、7世紀に創建された浅草寺をはじめ、もともと寺社が多い地区である。写真は、小林清親(きよちか)作「浅草寺年乃市」。この絵が描かれたのは明治10(1877)年代で、この頃にはすでに浅草にガス灯や電柱があったことがわかる。
所蔵：国立国会図書館



江戸城はもともと日比谷入り江を見下ろす崖の上にあった。
出典：一般財団法人日本地図センター発行「東京時層地図(for iPad版)」から、旧江戸城付近の地形(段彩陰影図)

地理学者の貝塚爽平氏は、著書『東京の自然史』(講談社学術文庫)のなかで「東京湾は地球上で最も改変された港湾である」という意味のことを書いています。その周辺も含めた東京圏を考えても、まったくそのとおりだと思います。

古代に遡ると、東京の港は浅草にあったとされています。東京湾には多くの川が流れ込んでいたので、土砂が堆積する。海岸線はそれによりどんどん南下していったのです。東京湾岸の地形はまず、自然の作用で変わっていきまし。江戸時代になると、大規模な土木工事が行われます。利根川や荒川の流れを変え、深川や築地などの埋め立てが進められました。江戸城の周りでは、本丸、二の丸、三の丸と階段状に盛り土し、駿河台の台地を割って、神田川の放水路を通すという、とてもない地形の人工改変を行っています。

1949年生まれ。東京の古地図や地誌の研究者で、テレビ朝日『タモリ倶楽部』などのテレビ番組にも出演。主な著書に『古地図で読み解く江戸東京地形の謎』(二見書房)など。



新しい都市建築の場として誕生した 湾岸部の埋め立て地



20世紀に入ると、湾岸部は埋め立て地が拡張され、新しい都市建築の実験場的な役割を担った。関東大震災、戦争、五輪などを契機に、何度も姿を変えてきた東京の湾岸部を旅してみよう。

関東大震災で認められた 東京港の重要性

「意外に聞こえるかもしれないが、江戸には本格的な港がありませんでした。ペリーの来航で開港する時も、横浜を港にしています」

そう語り出したのは、東京の都市計画史の第一人者で、北海道大学名誉教授の越澤明氏だ。その理由は、鎖国の時代、外国人が入ってくるのを避けたからと推察できる。

時代が明治になり、東京市と名前を変えた頃には、東京も身近な場所に港がほしくなる。しかし、横浜港がすでに東京の表玄関になっているため、別の港をつくり、その機能を奪うことは、表立ってはできない。そこで東京市は、隅田川の土砂がたまっていくので浚渫（しゅんせつ）する必要があると訴えた。越澤氏によると、

その浚渫土砂で埋め立てを行いながら、船を停泊できる港の機能を加えていくとしたという。

「大きな節目となったのは、1923年の関東大震災です。陸路が使えない状態で、救援物資を大量に運び込まなければならなくなった時に、船を直づけできる港が東京にはやはり必要だという意識が共有されたのです。そこで、竹芝、芝浦、日の出など埠頭が整備されました」

探られる土地の利用法 五輪や万博の会場にも

広がっていく臨海部の埋め立て地で、港以外の用途も探られたが、橋や道路が十分に整っていない状態で都市機能と呼び込むことは難しく、利用法には頭を悩ませた。

1940年に開催が予定され、結局は中止となった日本万国博

覧会では、晴海が会場とされていた。ここには、東京市庁舎を建設する計画も持ち上がったことがある。そして、1940年には、やはり幻となった東京五輪で、湾岸部が会場の一部になっていた。

「この時自転車競技場が港南地区に建設されています。2020年の東京五輪でも、臨海部が主要会場になりますが、同じことを当時からやっているのです」

戦後になると、晴海には国際見本市会場と高層集合住宅がつけられる。どちらも今までになかったタイプの都市建築である。そして、1980年代のバブル経済期には、台場や有明に臨海副都心が計画されるが、企業の誘致には苦労した。

「湾岸部の使われ方を振り返ると、新しく実験的な建築や都市を実現できる場として、埋

め立て地が使われてきたといえます。それは、これからも変わらないかもしれません」

越澤氏によると、東京湾岸部には重要な役割がもうひとつあるという。それは流通基地としての機能だ。1950年代、東京は増え続ける自動車に道路が対応できず、交通マヒの状況を呈していた。このままでは1964年の東京五輪開催に支障をきたす恐れがあるという

ことで、道路の整備を行う。その際にできたのが環状7号線や青山通りであり、首都高速道路だ。なお、これに関連する流通施設としてトラックターミナルが設けられ、大田区平和島に1968年に完成している。

「環状7号線の内側に貨物自動車なるべく流入させないために、湾岸部にこうした施設を配した計画は成功でした」と越澤氏は評価する。



北海道大学名誉教授
一般財団法人住宅生産振興財団顧問
越澤明氏 こしざわ・あきら

1952年生まれ。東京大学大学院博士課程修了。都市工学者、都市計画家で、東京都市計画研究の第一人者。主な著書は『東京都市計画の遺産（ちくま新書）』『東京都市計画物語』（ちくま学芸文庫）など。

column

海上に延びていく 線状の海上都市構想

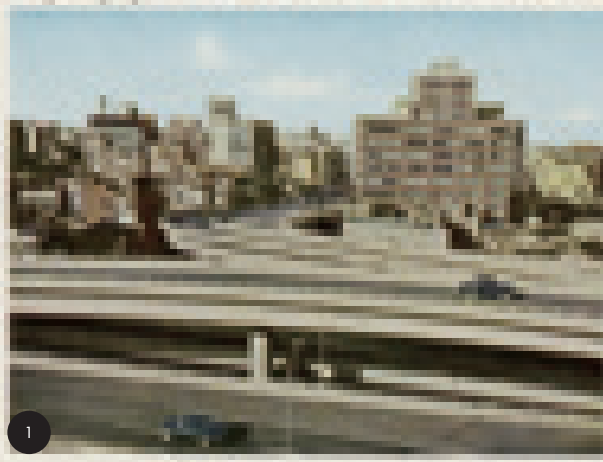
日本が高度成長期に入った1960年代初頭、東京は人口の急激な増加に伴い機能不全に陥りかけていた。著名な建築家・丹下健三氏が率いる東京大学丹下研究室は、この問題を解消すべく、1961年に「東京計画1960」を提案する。これは東京から千葉県の本更津まで、海上に線状の都市軸を延ばし、そこに都市の中枢機能を展開するという壮大なプランだ。

都市軸の内側には官庁地区、オフィスビル地区、商業地区などが、外側には枝状に住居地区が配された。サイクル・トランスポート・ション・システムと呼ばれる、8の字をつなげたような道路デザインが提案され、これにより大量の自動車交通を合理的にさばけるとされた。

1960年代にはほかに、未来都市の意欲的なプランが盛



首都高速道路開通記念 THE TOKYO EXPRESSWAY



1964年に発行された首都高速開通の記念切手とその記念スタンプ(下)。上は当時の首都高速道路の写真。切手には、日本橋の上を走る首都高速4号分岐線が大きく描かれている。画像提供: 内藤陽介氏

TOKYO BAY AREA 19XX

出典: 国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所「東京港の変遷」をもとに作成。
http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/tokyo/faq/img/que05_01.pdf

- 明治末期(1909年)の地形
- 1910~2005年の埋め立て地



1967年頃の永代橋。自動車の交通量が増え始めた時代だが、道路ではまだ路面電車が走っていた。
画像提供: 東京都交通局

路面電車なんて、
懐かしい。



関東大震災後に整備された芝浦港(日の出埠頭)。
東京市は1925年に日の出埠頭を完成させ、翌年、その使用を開始した。
出典: 東京市(編)『復興』(1930年) 所蔵: 東京都立中央図書館

「東京計画1960」の模型の一部。
中央から上下方向に分岐して延びる道
路がサイクル・トランスポートシステ
ム。
© 村井修



んに提案されたが、それらは海
上や湾岸に計画されたものが
多い。

ショッピングモールの発想でつくる 職住近接の未来都市



2020年の五輪開催に向けて、
湾岸部では現在、急ピッチで再開発が進められている。
湾岸部は、新しいまちづくりが
提案できる魅力的なエリアだ。
最後に、そこに秘められた別の可能性について探ってみた。

多様性がある東京の街
その良さを取り入れる

「五輪関連施設の計画案からは新しい都市ビジョンが感じられませんでした。これではつまらないと思って、独自の提案をまとめてみたのです」

こう語るのは、インテリアデザイナーで建築家の浅子佳英氏だ。発想のもとには、東京の住みたい街ランキングで常に1位となる吉祥寺の分析がある。

「好かれる理由は、住宅地と商業地が継ぎ目なくつながっていることと、駅の反対側に井の頭恩賜公園という大きな公園があること。多様性がある街の良さを提案には取り入れています」

東側の「ミニチュアトーキョー」と名づけられたエリアは、建物が南から低層、中層、高層とストライプをなすように配置されている。グリッド状の街

区は一辺が60m。これは東京で一般的な街区の半分の大きさだ。道は歩行者用と自動車用に分け、交互に配している。歩道と車道がぶつかるところは、道を上げ下げして、立体交差にした。

「起伏のある道は、単純な道よりも楽しく歩けるはず。通常、ショッピングモール内の通路も、まっすぐではなく少しカーブさせ、見通しをあえて悪くしています。それと同じ考え方です」

マンションとモールの複合で
湾岸に生まれる新しい「山」

「マウンストトーキョー」と名づけられた西側は、公園のような場所だ。こんもりとした山が見えるが、その内側はアトリウムの周りをらせん状にショッピングモールの周囲が昇っていく商業施設で、外側には斜面住宅が貼り

付いている。内部の移動には、横にも動くエレベーターを想定しているという。

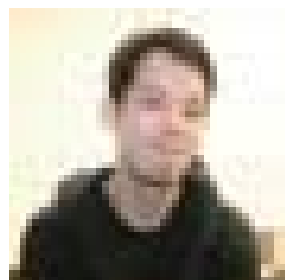
「湾岸に多く見られるタワーマンションは、採光を確保するために窓ばかりの建物になっています。一方、湾岸のショッピングモールには窓がほとんどない。それなら、この2つをまとめればいいと思いついたのです」

1960年代の日本では、建築家たちが大胆な未来都市の提案を盛んに行っていた。現在の社会状況で、そうした楽観的な都市ビジョンの提案は難しくなっているが、浅子氏は何も提示しないのも問題だという。

「今の湾岸部はタワーマンションとショッピングモールばかりになっていますが、はたしてそれでいいのか。僕は歩いて楽しい街をつくりたいですね」
浅子氏はこの提案に取り組んだ理由をそう語った。

column

移民受け入れで過密化が進んだ 東京の未来ビジョン



インテリアデザイナー、建築家
タカバネスタジオ主宰
浅子 佳英氏 あさこ よしひで
1972年生まれ。大阪工業大学工学部建築学科卒業。設計事務所、デザインスタジオ等を経て、2007年にタカバネスタジオを設立。インテリアデザイン、建築設計、ブックデザインなどを手がける。論文に「コムデギャルソンのインテリアデザイン」など。

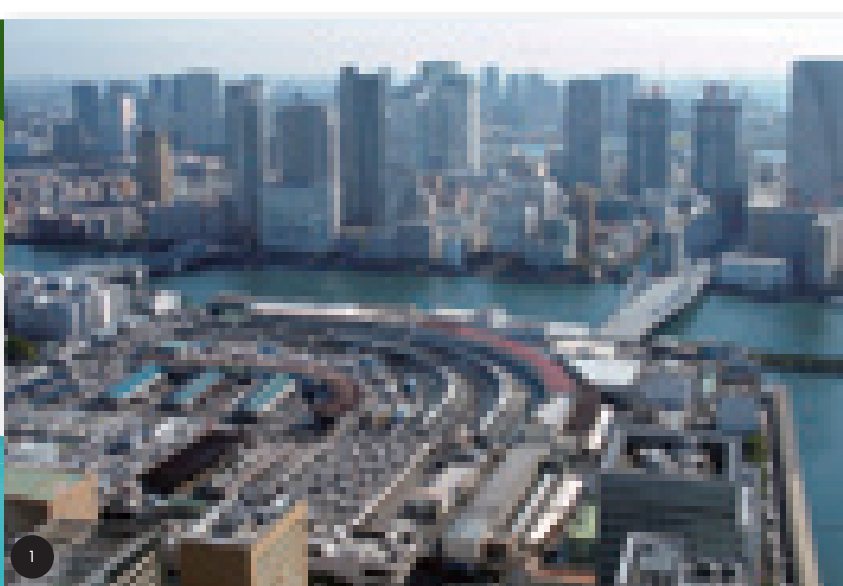


フリーウェイシティ
画像提供：八束はじめ氏

国を行っていたらどうなるのか？ 建築家の八束はじめ氏が率いる芝浦工業大学八束研究室は、これをテーマとするプラン「東京計画2010」を2010年に発表。これは、過密化が進んだ2050年の東京の未来像で、丹下研究室の「東京計画1960」を下敷きにして東京湾岸を計画対象地とした、全長100kmの線状都市だ。

そのなかでは、広大な人工地盤を重層化したスラブ・シティ、1枚ごとの壁状構造物が社会活動の単位となるウォール・シティ、線状の都市的構造が常に移動を続けるフリーウェイ・シティなどといった巨大構築物による都市が構想されている。

2050年、日本の人口は大幅に減少し、1億を割り込むのに対して、世界人口は現在よりも20億以上増えると予想されている。
もし将来の日本が大量の移民を受け入れ、第二の「大開



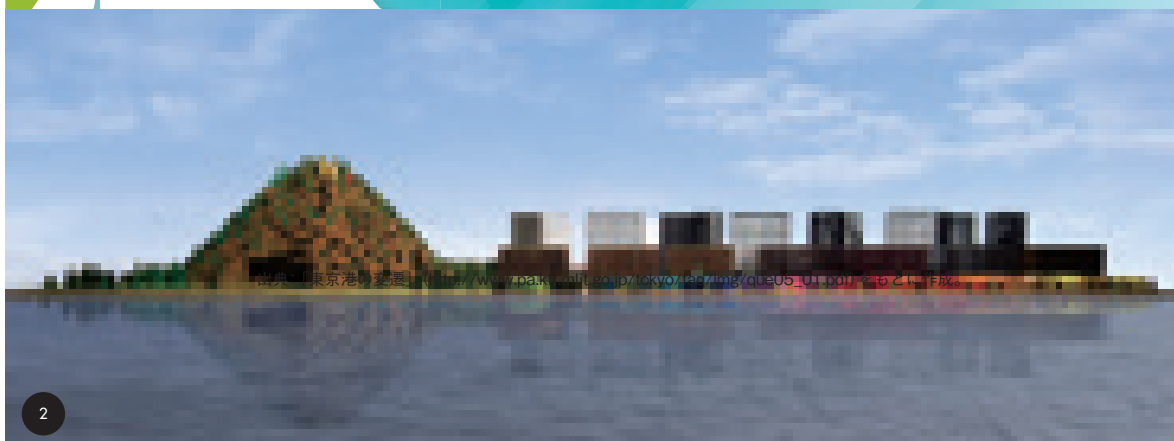
東京都心部と湾岸部を結ぶ大動脈「環状2号線」の一部として、現在建設中の築地大橋（写真右側の橋）。2016年に全面開通する予定で、2020年に五輪が開催される際には重要な役割を果たす。手前に見えるのは築地市場。
画像提供：長野真氏 写真撮影：2014年11月

TOKYO BAY AREA 20XX

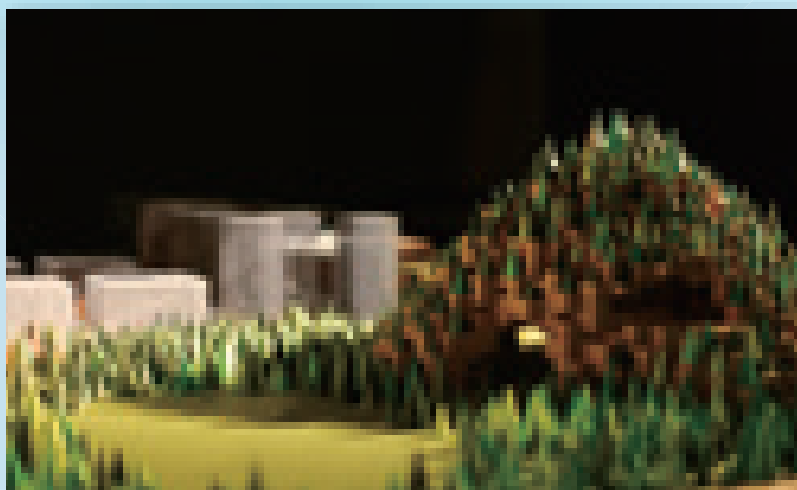
出典：国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所「東京港の変遷」をもとに作成。
http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/tokyo/faq/img/que05_01.pdf

- 2005年の地形
- 将来埋め立てられる領域

未来の東京湾岸、
わくわくするね！



右側が「ミニチュアトーキョー」で、高さが異なる建物が、ストライプ状に配される。
左側が「マウントトーキョー」で、山の内側がショッピングモール、外側が斜面住宅になっている。



「マウントトーキョー」は東京の湾岸に生まれる人工の「山」。12月にはライトアップされ、全体が巨大なクリスマスツリーになる。

画像提供：浅子佳英氏(3点とも)



立体交差する歩道と車道。車道は1車線がカーシェアリング用のパーキングスペースになっている。

楽しかった！

住
み
心
地、
い
か
が
で
す
か？



ESCO事業を活用し、 約11万7000灯の防犯灯を 11カ月の工期でLED化

人口370万人を抱える日本最大の政令指定都市・横浜で、約11万7000灯の防犯灯をLED化する過去最大規模の設置工事が行われた。横浜市は事業を一举に進めるためにESCO事業(※)を活用し、東芝グループが業務委託を受け、わずか11カ月の工期でLED化を達成。従来よりランニングコストを軽減し、消費電力量や二酸化炭素排出量の削減も実現した。

Interview



横浜市 市民局 市民協働推進部
地域防犯支援課長

森 正人氏
もり・まさと

DATA

事業名：横浜市LED防犯灯ESCO事業

工区：

A工区 60,062灯(鶴見区、神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区、港北区、緑区、青葉区、都筑区)

B工区 57,678灯(南区、港南区、旭区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区)

※ESCO事業

Energy Service Company事業の略。既存の機器を省エネルギー機器に改修すると、光熱水費を削減できる。この削減分の費用のなかから、機器の改修費や維持管理費を捻出する事業。

親会社である(株)東芝 コミュニティ・ソリューション社における組織改正に伴い、防犯灯LED化事業は2015年4月1日付で同社のビル・施設ソリューション事業部に一部移管されました。グループ一丸となり、お客様により一層ご満足いただける製品・サービスの提供を目指して邁進してまいりますので、変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

電気料金値上がりなどで 防犯灯の維持が負担に

夜の安全を守る防犯灯の設置は1961年に閣議決定された「防犯灯等整備対策要綱」から始まる。以来、すでに50年以上が過ぎ、様々な課題が浮上してきた。横浜市内の防犯事業を担う横浜市市民局 市民協働推進部 地域防犯支援課長の森正人氏はこう語る。

「防犯灯は従来、市が設置し、自治会町内会に寄贈して、維持管理をお願いしていました。維持管理費の一部を市が助成する形で運営してきましたが、電気代の値上がりによる地域負担の増大、二酸化炭素排出量削減の必要性もあって、防犯灯の省コスト化・省エネ化を模索していました」

横浜市は人口370万人を抱える日本最大の政令指定都市で、市内に約18万3000灯もの防犯灯がある。従来の蛍光灯は、年間1灯当たり電気料金3200円と、球切れによる交換などの維持管理費1100円を要した。計4300円のうち、これまで、横浜市が2200円を補助金交付として負担し、自治会町内会に残りの2100円を負担していた。1000

200灯も管理するような地域の場合、これが大きな負担となっていた。

ESCO事業で LED化を一気に加速

そこで、横浜市中では電気代や二酸化炭素排出量を削減でき、電球寿命が大幅に延びるLED照明の導入を決定し、2008年度にフィードバックを実施。モニター調査を行い、効果を確認したうえで、2009年度からLED化を開始した。

市内事業者が発注し、交換作業を始めたが、何しろ数が多い。初年度は1万1000灯を交換したが、その後はなかなか進展せず、2013年度末までの計5年間で、全体の21%(約3万9000灯)しか交換できなかった。森氏は「予算をやりくりしながら進めていましたが、このままでは10年かけても終わりそうになかった。そこで、一挙に進める施策としてESCO事業に着目した」と語る。

ESCO事業とは、省エネルギー機器への改修で発生する光熱水費の削減分を、改修費や維持管理費に充てる事業を指す。ESCO事業者は省エネ効果を保証する契約を交わし、金融機関から



防犯灯のLED化が完了した街並み。東芝ライテック製のLED防犯灯が夜道をしっかり照らしている。

の融資などを含めた包括的なサービスを提供する。一般的には、空調機器の改修などに利用されている。

「ちょうどその頃、群馬県太田市や秋田市などでもESCO事業によるLED化の事例が出ており、横浜市でも導入した際のメリット／デメリットを検討しました」（森氏）

懸念は、これまで市内事業者によって行われていた設置工事が市外に流出することだった。そこで、入札条件として施工元請けは市内事業者を使うこととし、詳しい事業計画書の提出を義務づけて、2013年12月にLED防犯灯ESCO事業業務委託の公募を実施した。

東芝グループの総合力が 高く評価されて採用

LED化の対象は、東京電力やNTTが共同利用する電信柱に設置された防犯灯約11万7000灯だ。これらの交換工事を1年間で実施し、10年間にわたって維持管理することが委託内容である。公募は鶴見区・神奈川区などのA工区と、南区・港南区などのB工区に分けられた。審査は、事業計画の評価と入札金額の評価による総合評価一般競争入札方式

が採用された。

事業者は2014年3月、A・B工区とも東芝エレベータを代表とするグループに決まった。森氏はこう語る。

「選考委員会で高く評価されたのは以下の3点です。まず東芝グループの東芝ライテックがすべてのLED照明を供給できること。当初は複数メーカーもやむなしと思っていたので、信頼性の高い東芝ライテック社製で統一できることは重要でした。第二に協力会社を含めた施工の8割で市内事業者を活用するという計画です。実際にはこれが10割になり、提案以上の成果でした。第三に東芝エレベータには24時間365日、昇降機の安全を守る体制があること。10年間の維持管理計画にも説得力がありました」

事業計画のなかで、東芝エレベータは、A工区の施工を市内に本社を置くセイブに、B工区も市内で事業を行う横森電気工業に委託し、その配下で複数の市内事業者に協力してもらう体制を整えた。

大きなトラブルや事故が皆無 予定より早く完了

工事がスタートしたのは、2014年6月からである。両工区とも、1業者が1日当

たり15〜20灯を交換するというスピードで工事が進んだ。

「施工中の大きなトラブルや事故を一番気にしていましたが、驚いたことに皆無でした。街なかが明るくなっているのがわかるほど、精力的かつ安全に仕事を進めてもらって、大変感謝しています」

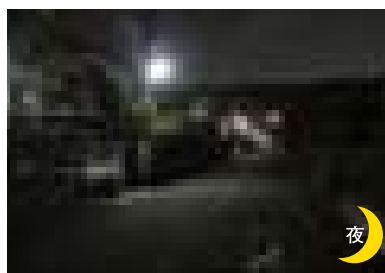
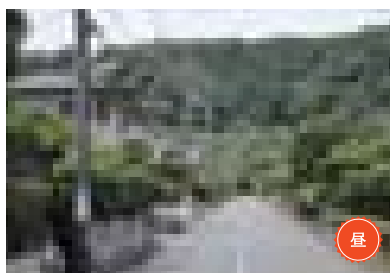
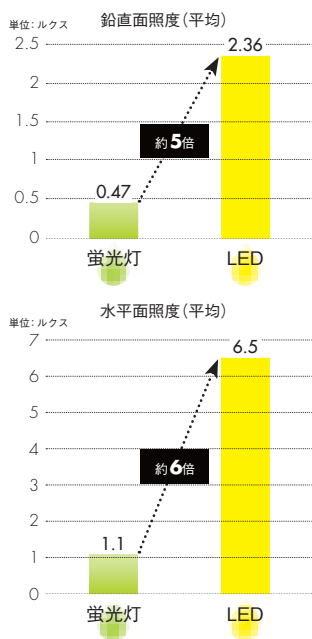
工事は、予定より1ヵ月早い2015年2月末に完了。市民からは「明るくなった。ありがとう」という声が横浜市に寄せられた。また、これまで蛍光灯が球切れしたら、自治会町内会の担当役員が電気店へ交換を手配していたが、その手間もなくなった。今後、東芝グループが維持管理サービスを提供し、地域は見守り役となる。

LED化によって電気料金は1500円に削減。これにESCOサービス料1500円を加えても、総額は3000円と13000円も減り、地域負担はゼロになった。全体では年間約2億円の電気料金削減効果を見込み、消費電力量は年間約619万kwh、二酸化炭素排出量は年間約3250t削減できる計算だ。他自治体からの問い合わせや視察も増えていて、今後、ESCO事業方式のLED防犯灯設置が増えるだろう。

●付け替え前後の防犯灯

LED照明に付け替えることによって、以前よりも足元が明るくなり、広範囲を照らせるようになった。例えば、ある電信柱に設置された防犯灯(高さ4.5m)の照度を導入前後で比較すると、鉛直面照度(路面から1.5mの高さで、人の顔面に対する照度)は平均で約5倍に、水平面照度(路面に対する照度)は平均で約6倍になった。

ある電信柱間の防犯灯の照度変化



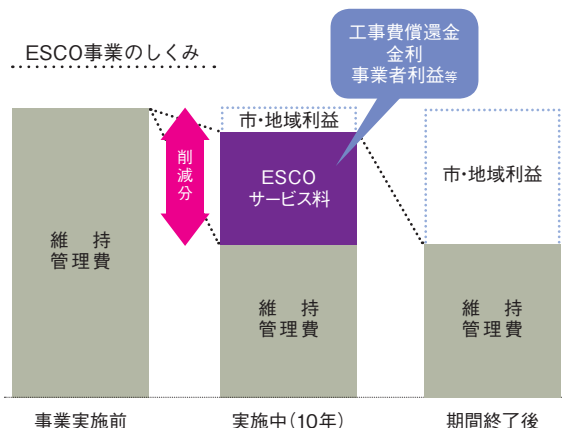
Before
蛍光灯
(20W)

After
LED
(10VA)

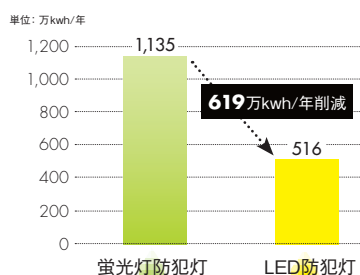
●ESCO事業導入のメリット

(対象となった約11万7000灯について)

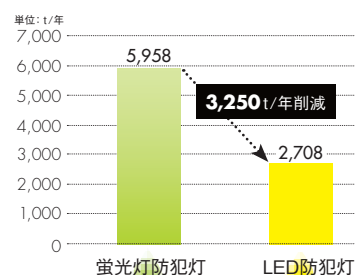
ESCO事業のしくみ



消費電力量(概算)



二酸化炭素排出量(概算)



メリットが多い ESCO事業



松林 賢司氏 まつばやし けんじ

金沢工業大学 情報フロンティア学部
経営情報学科 教授

大阪大学大学院応用化学専攻博士課程修了。
米国のMIT経営大学院MBA修了。
三菱商事等を経て、2014年より現職。

私たちの研究室では現在、

石川県内の防犯灯や街路灯のLED化、WiFi（無線LAN）・防犯カメラの設置などを、PFI（民間資金活用型）によりESCO事業化する調査を行っており、今年、自治体には提案する予定です。自治体は単年度予算ですから、資金のかかる設備投資の予算化が難しく、国に頼らざるをえません。しかし、PFIによるESCO事業を活用すれば、民間が設備投資を肩代わりしてくれるので、それを契約期間内で分割し、毎年の予算が組みやすくなります。

横浜市の事例はESCO事業のメリットを十分に活かしており、規模の大きさから東芝グループのコーディネート能力の高さを推察できます。日本最大の政令指定都市で実施されたという点も、北陸でPFIによりESCO事業を展開しようとしている私たちにとって、良いお手本になります。

ESCO施工役割

膨大な設置数のため、 協力会社との連携体制づくりに苦勞



畠山 誠治氏

はたけやま せいじ

株式会社セイブ
執行役員 工事部長
(A工区担当)



横森 豊氏

よこもり ゆたか

横森電気工業株式会社
代表取締役
(B工区担当)

ESCO施工役割と ESCO事業役割 の立場から

—まず、会社の概要と今回のESCO事業に参加された経緯からお教えください。

畠山 当社は東京と神奈川で電気工事業を営み、従業員は50人います。今回は取引先からの紹介で声をかけていただきました。建築の内線工事が大半で、防犯灯は今回が初めてでした。

横森 当社は横浜市を中心に公共工事の電気設備関係を手がけ、社員は13人です。もともと横浜市の防犯灯施工も行っていたことから東芝さんに声をかけていただきました。

—協力会社との連携はいかがでしたか。

畠山 当社自身は施工管理だけを行い、実際の施工は協力会社2社のもとで13社が参加する体制で進めました。協力会社のうち、1社が約8割を、もう1社が残り2割を担当しました。

横森 設置数が多いため、協力会社との仕組みづくりが大変でした。核になる会社が当社を含めて3社、その下で15社の工事店に協力していただく体制を整備しました。工事

店は、実績と信頼を重視して、神奈川県電気工事工業組合に属する市内の会社へ声をかけました。

—工事中に一番苦勞されたことは何でしょうか。

畠山 2割を担当した協力会社の現場入りが遅れ、横森さんチームと比べて、当社チームに作業の遅延が生じたことです。そこで、核になる会社を1社に絞って体制を組み直し、遅れを挽回しました。

横森 どの会社も写真入りの施工報告書づくりに苦勞しました。施工前後の写真を撮り、横浜市の指定ソフトで報告書をつくるのですが、現場の職人は、工事には慣れているものの、デスクワークに不慣れで、仕上がりにばらつきが出てしまった。そこで、作業者を集め、ソフトの使い方の勉強会を開催しました。また、電信柱に登って作業するので、安全管理に注意を払い、定期パトロールも実施しました。問題が生じた時は、メールなどを使って、即座に関係者全員と情報共有するようにもしました。

—工事中に何か問題はありませんでしたか。

畠山 住民の方から「LEDになって、明るすぎて寝られない」などのご意見が寄せられ、照明の向きを変えたことがあります。また、車が通れない狭い現場が多く、資材の運搬にも苦勞しました。

横森 「資材運搬の車が通行の妨げになる」というご意見も寄せられましたね。その場合、担当者がすぐにその方の家まで足を運び、納得していただけるまで説明しました。我々施工会社の段階でなるべく解決しようとセイブさんとも連携した結果、大きな問題になることはありませんでした。

—最後に今後の抱負をお聞かせください。

畠山 今回は貴重な経験をさせていただいたと思っています。LED照明の設置工事は今後も手がけていきたいですね。

横森 電信柱を管理する東京電力とのやりとりなど、ノウハウを蓄積できました。今後、同様の機会があれば積極的に参加したいです。

ESCO事業役割

「スーパー節電プラン」で培った ノウハウを活かす



横山 宗治

よこやま むねはる

東芝 コミュニティ・ソリューション社
ビル・施設ソリューション事業部
営業第二部 神奈川地区担当グループ長

東芝エレベータ
神奈川支社
リニューアル営業部
ビルファシリティー営業担当課長(当時)

横浜市内でESCO事業を活用して、約11万7000灯の防犯灯をLED化する計画があると知り、横山宗治はすぐに動いた。

「1年間でこれだけの灯数を交換する場合、照明の供給が心配です。まず東芝ライテックに相談したところ、月産2万個の供給が可能という確約が得られたので、入札に参加することを決めました」

東芝エレベータには「スーパー節電プラン」で培ったESCO事業のノウハウがあった。これは照明や空調設備などをESCO事業で改修するサービスだ。だが、防犯灯のLED化に適用するのは初めてだった。

横山は事業計画書をまとめる際に2点をアピールした。東芝エレベータには24時間365

日対応の昇降機のサービス情報センターがすでにあること、東芝ライテックが全量供給でき、同一機種のLED照明で統一できるため、景観を壊さないことである。これらは審査会でも高く評価され、A・B両工区の落札につながる。工事は2014年6月に始めたが、予定の1カ月前に完了した。横山は語る。

「施工を手がけた各社には大変ご尽力いただき、感謝しています。その後、神奈川県内の自治体に防犯灯のLED化の提案を行い、小田原市でESCO事業者を採用され、すでに施工が完了、他の大規模自治体でも検討が進んでいます」

防犯灯のLED化は今後も進みそうだ。

特別企画●交通と都市の未来形

未来の都市の歩き方

パーソナルモビリティ 試乗体験記

近年、パーソナルモビリティ(以下PM)と呼ばれる、1~2人乗りの新しい乗り物が注目を集めている。今回は特別企画として、PMの注目株のWHILLを横浜で試乗体験した様子をレポートする。

どっしりとした安定感
があって、急な坂道も
怖くなく快適ですね。



3

港の見える丘公園

試乗ルート

start

1

段差の乗り越え

坂道

3

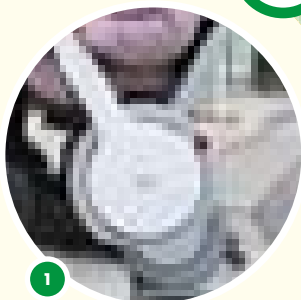
諏訪神社

2

横浜外国人墓地

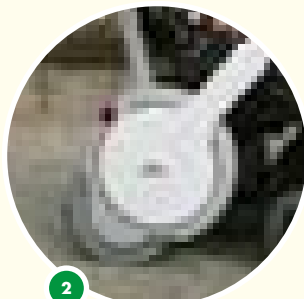
アメリカ山公園

中華街駅



1

車いすが苦手な道路の段差も
力強いパワーでクリアする。



2

砂利道でも4輪駆動の車輪
がしっかり地面を捉える。

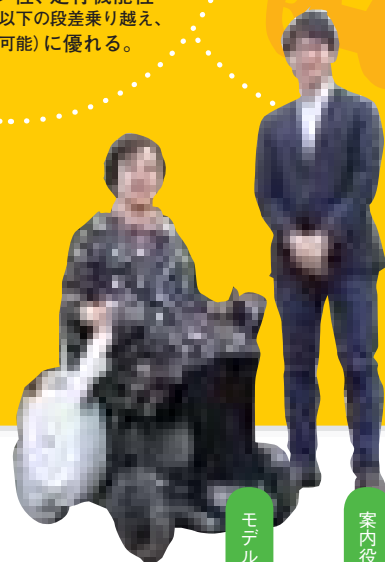
0 100m

※縮尺はあくまで目安です。

WHILLとは



ベンチャー企業WHILL(株)が開発した新しい電動車いすでPMの一種。デザイン性、走行機能性(4輪駆動/7.5cm以下の段差乗り越え、10°までの登坂が可能)に優れる。



モデル

案内役

大谷 太佑さん おおたに だいすけ
WHILL株式会社
営業・マーケティング

俳人鈴木節子さん すずき せつこ
俳誌「門」主宰

1932年東京生まれ。石田波郷主宰の「鶴」から能村登四郎主宰「沖」を経て、現在俳誌「門」主宰。俳人協会評議員。著書に『夏のゆくへ』『秋の草』『冬の坂』『春の刻』などの句集がある。

もうひとつの足を
突然手に入れた感覚

歩くのに大きな不自由はないけれど、出かけるのは近所でも少し面倒になってきたという鈴木節子さん。今回は、WHILL株式会社 営業・マーケティング担当の大谷太佑さんの案内で横浜に出かけ、パーソナルモビリティ(PM)のなかで超高齢社会向けの新しい移動手段として注目されるWHILLを試乗しました。

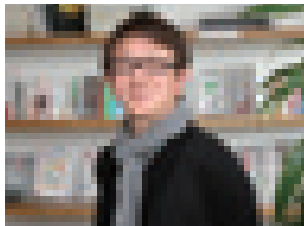
「機械を動かすというより、まるで自分の足みたいね。意外と簡単だわ」。初めてWHILLに乗った鈴木さんの第一声です。

形こそスタイリッシュな車いすのようですが、実際はまるで違った乗り物。スピードは時速2km、4km、6kmの3段階切り替えですが、慣れてしまえば手元のコントローラーで思いどおり。特に何かをしようと考えるなくても、自分の体の一部と同じ感覚で動かせるのには驚いた様子でした。

横浜外国人墓地から元町・中華街

パーソナルモビリティが開く 街との新しい付き合い方

株式会社グラディエ 代表取締役
磯村 歩さん



国 土交通省はPMを4タイプに分類しています。1つはWHILLのような歩道を走行する「電動車いす」。そして、車道を走行する1人乗りの「電動二輪・四輪車」。2人乗りのものは主に「超小型モビリティ」と呼ばれています。最後にセグウェイで有名な2輪の「移動支援ロボット」です。

共通ポイントは「電動」であること。主要部品がモーター、コントローラー、タイヤ、バッテリーで少ないため、初期投資が抑えられ、ベンチャー企業の参入が進んでいますね。さらに、「自動制御」に取り組むケースも増えています。利便性や安全性の向上が期待されています。高齢者の免許返納の課題や公共交通の減退など新しい乗り物が模索されているなか、PMには、私たちの生活を一変させる可能性があると思います。

キーワードは「“スロー”モビリティ」。クルマのように速く移動するのではなく、PMのようにゆっくり移動すれば、行き交う人とちょっとした会話が生まれたり、ふだんは気づかない新しい発見にもつながります。PMによって、街との新しい付き合い方が生まれると思いますよ。

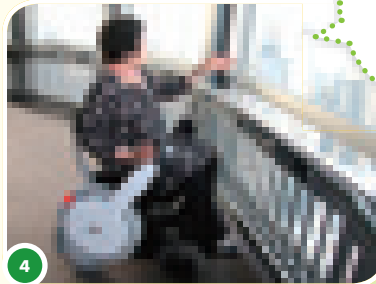


磯村さんがデザインした
折り畳み式のモバイルPM「gp1」
(発売未定)

いそむら・あゆむ ●1966年生まれ。PMの導入コンサルタントとして、自治体、商店街、百貨店向けにPMのシェアリング事業導入や市場調査を担う。またデザイナーとしても、PMの商品企画やプロダクトデザインを行うなど、PM普及に向け、精力的に活動している。

定位置に
氷川丸
動くなり

いー句。



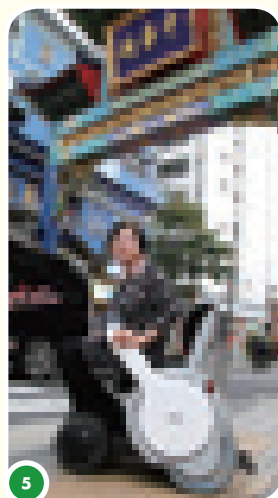
4

足が弱くなってもう
ムリかと思っていた
タワーでも空からの
横浜を満喫できま
すね。

山下公園

横浜マリンタワー

4



5

車椅子
実体験
春や春
ロケ

いー句。

中華街・
朝陽門

5

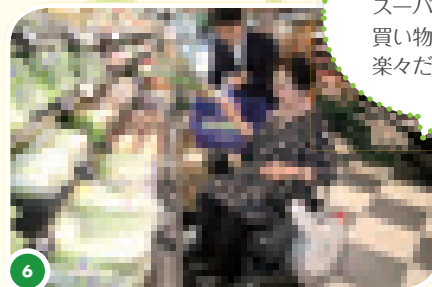
maruetsu petit

6

元町

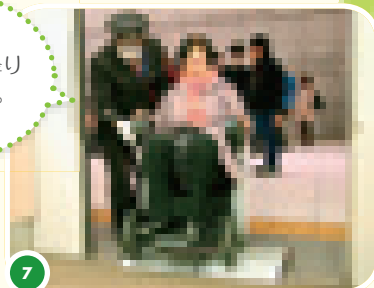
7

座ったままで、
スーパーの
買い物も
楽々だね。



6

電車の乗り降り
も、簡単ね。



7

注目されることで 街も変わっていく!?

一方、鈴木さんは、安心してPMを利用できるように街がもっと変わればいいのにも感じたそうです。例えば、スロープの幅がもっと広げれば、PMの操作はもっと楽になるに違いありません。

もうひとつ感じたのは、WHILLの注目度が非常に高いことで、実際、道すがら何人にも声をかけられました。

「こんな乗り物が普及すれば、街もきつとどんどん変わっていくでしょうね。今日はぜひぶん楽しました」鈴木さんは満足そうに話をまとめてくれました。

駅まで、起伏のある道も含め、1時間ほど横浜の街をWHILLで楽々散策した鈴木さん。「乗ってるだけで楽しい! まだ車いすはいらないけれど、これなら今からでも楽しく使えるかも」と言葉を弾ませます。

誰かの人生を変えてしまうような 質の高い音楽を紹介し続ける

ピーター・バラカンさん（DJ、ブロードキャスター）

パーキングメーターを 切り落とす痛快さ

小雨の降る夜、主人公ルークは酒に酔い、パーキングメーターの周りをゆっくりと回っている。大きなパイプカッターで、メーターを次々に切り落としているのだ。映画『クール・ハンド・ルーク』の冒頭シーンである。

「何ともいえない静けさ。そして反権力の香り。このシーンが、16歳の僕にはたまりませんでした」とピーター・バラカンさん。この作品を観に何度も映画館へ足を運んだ。

ルークは2年の実刑判決を受け、フロリダの刑務所へ。なんとも突飛なこの犯罪の意味をバラカンさんはこう説明する。

「ロンドンでは、1960年代初頭にパーキングメーターが現れました。制服姿の監視員が巡回し、1分でもオーバーすると罰金です。それまでは

どこでも路上駐車ができたので、自由を侵された感じがあったと思いますよ」

バラカンさん自身も、子どもながらに、「嫌なものだ」と感じていたという。

「これこそ、権力を象徴する、何よりもくだらないものだと思います。だから、ルークのとった行動がとにかく痛快だったのです」

音楽が僕の人生を 変えたから

刑務所でのルークは、何があっても微笑みを絶やさず、不条理な暴力にも決して屈しない。存在感が高まり、囚人仲間を彼は「クール・ハンド・ルーク」と呼ぶようになる。

理不尽な理由で懲罰房に入れたルークは、その後脱獄。捕まっても改心せず脱獄を繰り返す、三度目に射殺される。おとなしくしていれば、もうすぐ釈放されたにもかかわ

らず、彼はその道を選ばなかったのだ。

この物語は寓話だ。刑務所が私たちの社会で、そのなかで『自由人』はいかに生き抜いていけるのかという問いがある。

「1960年代、保守的な社会に嫌気がさした若者は革命も考えた。そこまでいかなかったも、ルールに必要以上に縛られず、人に迷惑をかけない程度に自由に考え、行動したいと、誰でも願ったものです。ルークの真似をしたとは思いませんが、僕は彼に共鳴し、彼の気持ちもよくわかりました」

当時、バラカンさんが深く感動したシーンがもうひとつある。炎天下の道路工事。ルークだけが懸命に働く。当初は訝しんだ囚人仲間も次々と加わり、猛烈な勢いで仕事を片づけてしまう。まだ日は高く、唾然とする看守を横目に、ルークたちは自由な時間を得た。「ちよつとした発想の転換が、人のためにもなる。画期的だ

としましたね」

ただしこれは、危険分子、ルーク殺害の理由にもなった。人に影響を及ぼすという点は、バラカンさんも同じだが――。

「自分がいいことを音楽に語らせることがあります、変な反響があつても、殺されることは無いと思いますよ（笑）。60年代、音楽は世界を変えられなかった。でも、僕の人生は音楽で変わりました。僕が紹介する音楽で考え方の変わる人が1人でもいれば、やりがいになります。だから、リスナーに音楽を届ける仕事はやめられないのです」

そう語るバラカンさんに、ルークの姿が重なって見えた。おそらく誰の心のなかにもルークはいる。問題は、それをどう活かすかにかかっているのかもしれない。



『クール・ハンド・ルーク』

監督：スチュアート・ローゼンバーグ

1967年製作

Blu-ray ¥2,381+税

DVD ¥1,429+税

ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント

story

戦争の英雄、ルーカス・ジャクソン（通称ルーク、ポール・ニューマン）は、酩酊の果てにパーキングメーターを壊し、懲役2年。フロリダの刑務所に収監されるが、権力に屈せず、いつも穏やかな微笑みとユーモアを失わない囚人仲間は、そんな彼を「クール・ハンド・ルーク」と呼び、次第に尊敬を寄せる。しかし、周囲を感化するルークは刑務所にとって厄介な存在となり、看守らは理不尽な暴力を加えてゆく。ルークは耐え、脱獄を繰り返すが……。

原作はドン・ピアースが1965年に発表した同名小説。作者自身のフロリダにおける服役経験がもたらしたとされる。テーマ曲や囚人たちの歌など、アメリカ南部のブルースやジャズ的な色彩を帯びた音楽も魅力だ。



Peter Barakan ●1951年ロンドン生まれ。大学で日本語を学ぶ。レコード店勤務を経て1974年来日。22年間キャスターを務めた『CBS ドキュメント』でも著名。放送中の番組に「BARAKAN BEAT」(InterFM)、「ウィークエンドサンシャイン」(NHK FM)など。

がんばる 地方都市

第6回

三重県多気郡多気町



「まご」の頑張りに
触発されて、町が元気に！



前・多気町
まちの宝創造特命監
岸川 政之氏
きしかわ まさゆき
三重県立相可高等学校
食物調理科
専門調理師教諭
村林 新吾氏
むらばやし しんご

皆さんの町にも、宝がいっぱいあります。今は単に気づいていないだけで、今後それを発掘し、磨いて、町の誇りに育ててほしいですね。人は最初、誰だって失敗します。しかし、失敗を恐れ、口を動かすだけでは何も生まれません。まずやってみることが大切ではないでしょうか。

高校生が切り盛りする
レストラン

「いらっしやいませ」

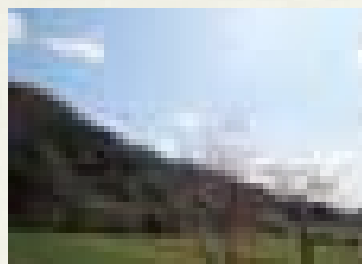
接客係に案内されて店内に入ると、厨房やフロアから元気な声が一斉に返ってきた。キビキビと動くスタッフをよく見ると、あどけなさの残る顔がほとんど。そう、ここは三重県多気町「五桂池ふるさと村」内にある「まごの店」——通称「高校生レストラン」だ。

2011年にこの店をモデルにした連続ドラマが放映されたため、ご記憶の方も多いだろう。三重県立相可高等学校 食物調理科で学ぶ高校生が食材の調達から後片づけまですべて行う、全国でも例のないレストランだ。店には客が切れ目なく訪れ、オープンから1時間間もたずに完売することもある。2002年に開店して以来、生徒を指導してきた同校 教諭の村林新吾氏は、開店の狙いをおおらかに語ってくれた。

「学校では本格的に指導していませんが、接客、コスト管理は絶対教えられる。この2つは、将来自分が店を構えた時に大切なもので、それを理解してもらうには、本当の店で研修できたら最高だと思っています」

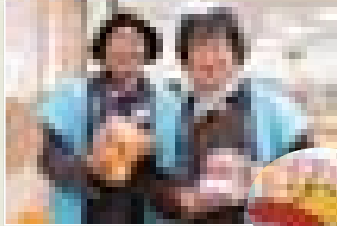
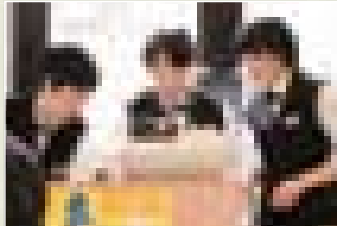
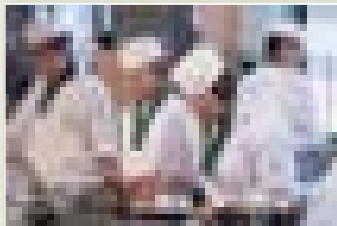
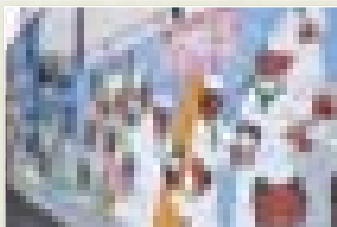
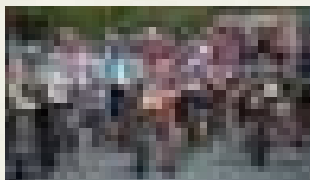
高校生がレストランを運営するとは、なんと突飛な夢だろうか。しかし、村林氏のそんな夢は、当時、多気町役場に勤めていた岸川政之氏の奔走で具体的な形になった。

【三重県多気郡多気町】



●人口：約1万5000人
●面積：103.17km²

三重県のほぼ中央に位置する内陸の町。2006年、隣接する村と合併して新生多気町が誕生した。古くからの交通の要衝で、現在も高速道路と鉄道の両面でこの地位は健在。特産品は、ミカンと三重県一の生産量を誇る柿。県の伝統野菜・伊勢いもの発祥の地でもある。北京オリンピック・マウンテンバイク監督の西井匠氏が移住したのをきっかけに、多気町では2012年以降、自転車による町づくりプロジェクトを進めており、昨年10月、日本マウンテンバイク協会公認国内レースを開催した。今年は、国際レースを開催する予定になっている。

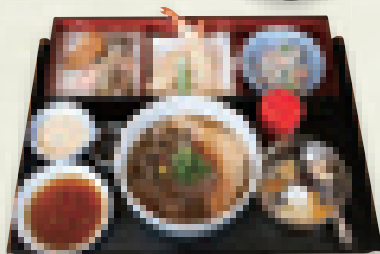




藤谷浩介の ここがポイント!

実業高校には、テストの点数に表れない能力を眠らせた生徒がたくさんいます。「まごの店」が素敵なのは、彼らに将来に直結するビジネスの基本を学ばせていることです。受験教育よりもよほど有為な人材を育て、地域の活性化にも貢献しています。

もたに・こうすけ ● 日本総合研究所 主席研究員。日本の全市町村を訪問し、地域特性を多面的に把握。登壇・出演・寄稿等は年間1300件を超える。著書に『里山資本主義』『しなやかな日本列島のつくりかた』など。



店一番人気の「花御膳」(上)と、うどんの麺に伊勢いもが練り込まれた「まご店定食」(下)。店のメニューは基本的に変わらないが、季節によって旬の食材が取り入れられる。



「まごの店」が企業と共同開発した商品の数々。



「まごの店」を切り盛りする村林氏と生徒の皆さん。制服に身を包んだ姿が初々しい。



多気クリスタルタウンショッピングセンター内にある「せんばいの店」1号店。



生産経済科の生徒が製薬会社と共同開発したスキンケア商品。全国のドラッグストアで販売されている。

「まごの店」では現在、レストランというステータスを飛び越え、様々な企業と連携した商品開発にも取り組んでいる。例えば、味噌、しょうゆなどがそうで、いずれも村林氏が監修し、生徒が試作を繰り返し返しながら考案した。また、2年前から三越向けにおせち料理を企画しているし、県内の企業と協力して、木綿の手ぬぐいや铸物のごはん釜の商品化にもこぎつけた。

「僕が食品を監修する場合、化学調味料は一切使いません。安全・安心が食の基本で、店がかかわっている商品なら安心と思ってもらえることが相可ブランドの確立に

誰でも真似できるモデル

ていく。岸川氏は、2002年に企画したイベントの試食会でホテルのディナー並みの料理を30品調理した村林氏と生徒にすっかり惚れ込んでいた。いくつものハードルを乗り越えなければならなかったが、岸川氏は先生と生徒の夢をぜひ実現したいと思ったのだ。

「この店がすごいのは、研修施設でありながら、先生と生徒が運営費をすべて賄っていることです。だからこそ持続可能な取り組みになり、奮闘する生徒の姿を見た大人の応援団もだんだん増えていく。今では町自慢の店になり、ここを軸に、新しい動きが大きく広がっています」(岸川氏)

つながるからです」(村林氏)

「まごの店」の活躍は地域に活力を生むうえでも重要な役割を果たしている。例えば、2008年、同校の卒業生が地元で働く受け皿となる株式会社相可フードネットが誕生。地産地消の考え方で惣菜・弁当を調理・販売する「せんばいの店」を、現在3店舗運営している。また、同校生産経済科の生徒は2010年以降、ハンドジェルなどを製薬会社と共同開発。順調に売上を伸ばしている。そして、これらの動きを背後で強力に後押ししたのも岸川氏だ。

シェル・レーヌ (プレーン)

【特定原材料】卵、小麦粉、バター、あこや貝の粉末



ブランカは、株式会社ブランカが三重県を中心に直営5店舗を運営している洋菓子店です。

<http://www.blanca.co.jp/shop/>

三重県の名産品といえ
ば高貴な輝きを放つ真珠。
その真珠に光沢を与え
る「あこや貝」の内層光沢
部分の粉末が、しっかりと
と生地練り込まれている
のが、今回のシェル・
レーヌです。外側はサッ
クリ、内側はしっとり。
2つの食感を楽しみなが
ら、天然のカルシウムを
とることができます。
鳥羽市でパン屋を営ん
でいた石井隆久社長が、
地元をアピールできる商
品をつくろうと1991
年頃から開発を開始。地
元の小麦粉や卵を使用し
た無添加の真珠貝の形を
した菓子が、すぐにでき
あがりました。

「しかし、ここからが勝負。『もうひと工夫ほしい』と試行錯誤が続きます。そんなある日、真珠の専門店ミキモトの社長と出会い、食用のあこや貝の粉末があることを知りました。株式会社ブランカ営業主任の高野友靖氏は、「味を損ねず、どこまであこや貝の粉末を入

れることができるか、ここでも苦労しました」と語ります。

そのかいあって、1993年に誕生したシェル・レーヌは、翌年、第22回全国菓子大博覧会において、名誉総裁賞を受賞しました。

「受賞した時と変わらぬ味を守るため、焼き時間や温度には、細心の注意を払っています」(高野氏)

そんなこだわりの味は、年を経るごとに全国にじわりじわりと浸透。若い女性を中心に、ファンが増え続けています。三重県を代表する和菓子は赤福、洋菓子はシェル・レーヌといわれる日も目前です！



あこや貝の粉末(内層光沢部分)

ここがポイント

プロから、ひと言！



外側の焼き色のついた部分はバターのコクと風味がしっかりとリッチな味わい、内側は卵白とご当地の小麦粉を活かした、パールのような色白仕立てのあっさりとした味わい。このハーモニーが、大きめサイズなのにペロリとおいしくいただける決め手ですね。

料理研究家
フードコンサルタント
上村 泰子氏



かみむら・やすこ
フード・アイ代表。企業やレストランのフードコンサルティング、メニュー開発に長年従事し、新聞・雑誌、講演会などでも活躍。著書や監修本は60冊以上ある。簡単でヘルシーな料理提案と親しみやすい解説で人気を得ている。